



代田・九条の会 4周年記念のつどい

代田・九条の会「4周年記念のつどい」が、晴天の11月3日・文化の日の午後、ステンドグラスの光が虹色に射し込む東京都民教会の礼拝堂で行われ、約50人が参加した。

野間口 至代表が挨拶を兼ねて当会発足後の歩みを簡単に紹介した。さらに配布したレジメに沿って、この1年間の活動報告を行った。そして、最近の自民党安倍・石破体制の発足、橋下大阪市長らによる日本維新の会の結成、石原東京都知事の退任と新党結成の動きなど、改憲勢力の活発な動きに対抗して、これから我が九条の会の真価が試される正念場となるので、しっかり頑張っていきたい旨の決意表明を述べた。

次に、東京都民教会の亀田 正己牧師が、教会の紹介と、東日本大震災災害復旧のためのボランティア活動などの挨拶をされた。

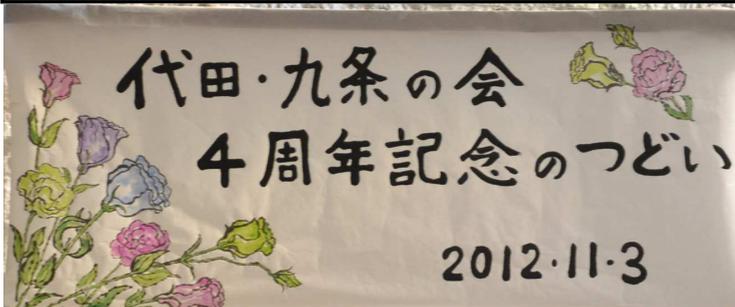
いよいよ沖縄衣装に身を固めた「渋谷がじゅまる」の9名の皆さんの三線（さんしん）の演奏と歌と踊りに移った。このグループは、働きながら趣味の三線を始め、ボランティアをするようになった若い人たちで、「安里屋ゆんた」「国頭じんとよ」「加那よー」など8曲を情感豊かに、一生懸命、元気よく演奏された。踊りの方も3人の方の特別参加で会場一気に盛り上がり、楽しい催しとなった。

休憩をはさんで、作家・エッセイストで著作も多い在日コリアン2世の朴 慶南（パク・キョンナム）さんのお話を伺った。彼女は1950年生まれ。若々しい彼女の演題は「私たちは幸せになるために生まれてきた」。命の大切さ、人間としての尊厳（心の位置を高く持つ、がモットー）を軸に、人と人とを結んでいく出会いをいろいろなエピソードを交えて、わかりやすく丁寧に話された。例えば、松本サリン事件で犯人にされかけた河野 義行さんがいかに立派に行動されたなどを例に挙げ説明された。そして、現在の日本社会での大きな問題、「原発」「沖縄」「領土」などに対しては、究極的な人間の不幸である戦争を防ぐ方向で努力すべきであり、人間が幸せになるためには平和な社会にしなければならないので、それには憲法九条を守らなければならないと結ばれた。

そのあと、再び「渋谷がじゅまる」のみなさんが登場され、「芭蕉布」など2曲を歌われた後、「ふるさと」を全員で合唱し、雰囲気盛り上げた。

司会の高岡 岑郷さんは、東京都の石原知事の辞任に触れ、「憲法を守る知事を選べるチャンスを作ってくれた」と述べた。

(代田5丁目・野間口 至)



幕作成：岩瀬薫さん

写真撮影：小澤満吉さん



アンケートから

1. 渋谷がじゅまるの皆さんの演奏について

- ・生で聞くのははじめてのことで楽しませて頂き増した。
- ・渋谷がじゅまるの皆さんの歌と踊りは、大変楽しく、会場を盛り上げてくれて、とてもよかったです。最後まで、快くつき合い下さりお気の毒に思いました。
- ・沖縄に行ったときを思い出し懐かしくなりました。とても良かったです。
- ・沖縄の歌一つ一つに民族の愛・喜び・悲しみ・怒りがこめられているのですね。歌われている情景が浮かんでくるようでした。
- ・歌詞はわからないが、沖縄の歴史を歌い踊り、楽しいひとときを過ごせた。沖縄の人びとの悲しみ喜びが伝わってきた。遅くまで待ってもらって申し訳なく思っています。
- ・若い時には沖縄の友達もいました。沖縄の旅にもよく行き、若い頃を思い出しました。何曲かは聞いたことがありました。
- ・三線って情緒があっていいですね。皆さんマジメに聞いていらっしゃいましたが、もっと「のって」もいいのでは？ 手拍子とか？
- ・三線に載せて歌われた島唄、美しい和服、特に紫色のかぶり物(?)が映えてすてきでした。舞台がもう少し広ければと。踊り手にはお気の毒。
- ・沖縄の踊りたくなるような音楽で、元気を頂きました。ありがとうございました。
- ・生演奏良かった!! 沖縄の音楽と踊りを、もう少し詳しく知りたくなった。独特の歴史があると思うので。
- ・初めて生で聞きました。三線の音とリズムは異国風なおもむきがあり、心に響きました。明るだけでなく哀切な調べには、沖縄の人びとの暮らしや歴史が映し出されているのだと思いました。



渋谷がじゅまる

2. 朴 慶南さんのお話について

- ・人は幸せになるために生まれてくる、その対極にあるのが戦争であること、「憲法九条」を守り、生かすことを世界に発信する、それが日本人の役目であることなど、パワフルな朴さんの話に深く納得、共感しました。
- ・実話を混ぜながらの話に自分ならどうするだろう、どう考えるだろうと…自分をふり返る機会になりました。話をききながら、思わず涙がでてしまいました。なにより平和が大事であり、九条を守っていく事が私たちの責任であると感じました。
- ・沢山の興味深い話をされた。聞いていて色々考えさせられた。
- ・思いやるということは、真実に目を向けることだと語ってくれているように思いました。竹島の問題だけでなく、慰安婦や挺身労働隊の人権の問題などを考える時には、韓国を併合していた事実に向けなければ一歩も進まないと思いました。
- ・話し方が情熱的で、具体的で非常に感動しました。
- ・朴さんは、いろいろなエピソードを交えて、人間が幸せになるためには、戦争のない平和な社会でなければならない、それには、憲法九条を守らなければならないと、熱く話をされたのが印象的でした。全くその通りです。
- ・どの話も涙が出る感動する話でした。一生記憶に残る様な話と思った。「キーちゃん」、「朝鮮」の話、「ヤクザとのつきあい」それと松本サリン事件で被害者なのに犯人にされ、苦痛の思いをした河野さんとその子どもたちの大変だった人生…の話。そうした中、九条の持つ大切さ、少しでも戦争がなくなり平和な日本と世界がおとずれるよう、今の大人の責任としてやりとげなければならないと思うばかりです。一人一人は小さいし弱い。しかしまとまれば大きく強い力になります。
- ・キョンナムさんの話の中で、一番心がふるえたのは「きいちゃん」と山元先生のことです。10年前に6年生を担当したとき、卒業を控えた子どもたちと「きいちゃん」の物語を読み合いました。この物語の背景に「きいちゃん」の詩集があったこと、「きいちゃん」の言葉はキョンナムさんの心を動かし、キョンナムさん、「きいちゃん」、山元先生の結びつきをいっそう強めていったこと、現実を切り拓いていく想像力の大切さを感じたのです。



朴 慶南さん

アンケートから

2. 朴 慶南さんのお話について (続き)

- ・話が現実にあった体験で、体験した人と会って、その話をした。もう一度話を聞きたいと思います。韓国でも九条の会があるとことを知りました。これからも九条を守っていきたいと思います。
- ・民族的な差別意識は持っていないつもりですが、さらにすすんで、在日二世の方々が、日本の中でどのような思いで生きているのかという点について、自分の問題として考えたことがなかった。拉致被害者の方に会って「ごめんなさい」とあやまる朴さんたちは、はっきりと「朝鮮人」として生きているわけです。その複雑な立場や思い、そしてそれは歴史的に日本人に責任があるということをもっと考えなければと思いました。竹島が、韓国の人々にとって、日韓併合の屈辱的な歴史の象徴ということも、とてもリアルに理解できました。
- ・朴さんの心の琴線に触れた人に逢って直接伺ったことをもとに本を書き、あふれるように話し重みがありました。サラム (人)、サラン (愛)、サラ (生) の言葉のひびき、ありのままの自分を受けとめる。命、九条、戦争、願生など朴さんの大切にしていることを情熱的に話された。今回は九条の会を意識しての話であったが、現在に至るまでの朴さんの人生について、もう少し聞きたいと思いました。

3. 今回のつどい全体について

- ・構成が素晴らしかったと思います。
- ・今日のつどいは大変よかったです。朴さんの話はとくに。
- ・朴さんの話が長くなってしまい、質問・意見の時間がとれなくて残念でした。亀田 正己牧師さんの平和という字は、穀物を平等に食べるという意味のお話など心に残りました。
- ・九条をもっと多くの人に広げたいと再度強く思います。大変良かったです。
- ・礼拝堂を貸して下さり、何くれとなく協力してくださる牧師さんには本当に感謝です。
- ・対韓、対中問題が微妙な時に、朴さんの講演はすばらしい企画でした。当日朝、声をかけた方が参加して下さいと後で知り、うれしくなりました。
- ・とても良いつどいだったと思いますが、参加人数がもっと多ければ良かった。もっと誘えば良かったと反省。
- ・キョンナムさんのお話は内容が良いので、もう少し話をしぼって、掘り下げたいと思いました。

4. 代田・九条の会のとりくみについて

- ・いつも興味深い企画をたてておられていましたが、やっとはじめて来ることができ、楽しませて頂きました。
- ・幹事の方々のご努力に頭が下がります。お疲れさまでした。折角のつどいに参加者が少なく残念でしたが、盛会だったと思います。
- ・いつも良い企画なので、もっと多くの人に参加できるよう対策、工夫をしたらよいのではと思います。参加費をもう少し上げてよいのでは！
- ・教会の「気仙沼のさんま」とてもおいしかった。九条の会でも何かおいしいものを売ったらどうですか？
- ・子育て中の母親、孫育て中の世代が参加できるような、企画。児童文学者の岩崎さん (烏山にお住まい) や浜田さん (下高井戸にお住まい) のお話もうかがいたいものです。
- ・朴さんのお話は又お聞きしたいなあと思います。
- ・いつも内容のある企画を次々と成功させて、中心的に活動なさっている皆さんの努力と苦勞に頭の下がる思いと、何も協力しない自分が恥ずかしいです。
- ・「代田・九条の会」があることを代田に居住する方々に知ってもらえるよう、宣伝をしてもよいと思います。改憲派の台頭を許さない第一歩になるのではないのでしょうか。

5. その他

- ・私は町田の忠生・小田山九条の会の会員ですが、日本作文の会の活動で、殆ど参加できていません。今日のつどいから学んだことを地元にも生かしていかなくてはと思いました。
- ・参加者をどう増やしていくか。数日前に直接お話をしたり、電話をした人の参加が多かった。
- ・入会金 500 円は高いのでは？入会金をいただかずに、会員から毎年運営費カンパを求める仕方の方が入会の誘いがし易いように思われます。入口の敷居はなるべく低い方がいい。
- ・いつも何人か、PTA の時の知り合いの顔が浮かんで声をかけたらどうかなーと考える時があります。思い切ってその方に声をかけ、一緒に出かけて頂けたら思います。



亀田 正己・牧師

「反原発 100000 人大占拠」に参加して

雨が予報されていた 11 月 11 日午後、国会・首相官邸など原発に関連するところを包囲しようと呼びかけられた行動に参加しました。行くだけでなく自分たちもアピールしようと、妻手製のゼッケンを持って出かけました。ゼッケンを背中につけて、日比谷公園から経産省に向かおうとすると、あちこちから声が聞こえ、多くの人の動く姿が見えてきました。首相官邸と国会の周辺はいたるところの道が、機動隊によって「封鎖」されていて、なかなか近づけません。最後部に並んでも進まない状況になっていました。でも、国会の周辺も首相官邸の近くも「原発いらない」「大飯を止めろ」「大間を許すな」の声と、人とで埋め尽くされていました。

何人が参加したのでしょうか？どこかに集まったのでもなく、決められたコースを歩いたのでもないのですが、とにかくたくさんの方が、線になってつながっていました。

いのちと暮らしに関係していることで、大きな問題が起これば、普段は行動しない人たちも行動を始めるのだ、と感じました。憲法 9 条をないがしろにし、戦争を始めたいと思っている人が活動を強めている中で、戦争の悲惨さをアピールし、事前にその妄動を抑えなくては、と強く感じました。
(代田 2 丁目・伊東 宏)



集会等の紹介

11月 30日(金) 上映開始 19:00

映画「ひろしま」上映会 映画人九条の会 8周年イベント 参加費：1000円

会場 東京・文京区民センター 3A (地下鉄丸の内線・南北線「後樂園駅」徒歩 5 分
／都営三田線・大江戸線「春日駅」徒歩 0 分)

主催：映画人九条の会 電話 03-5689-3970 FAX03-5689-9585

命と暮らしを守り、憲法を生かす「人にやさしい都政」の実現を

石原慎太郎氏は 10 月 25 日、都知事を辞任して新党を結成し国政への復帰を突然、記者会見で表明しました。石原氏は、都知事の任期を半分以上、二年半も残して投げ出すことになりました。無責任極まりない態度と、国政のために東京を踏み台にした身勝手さに強い憤りを禁じ得ません。石原氏は「小異を捨てて大同に」と口にし、橋下徹維新の会と一緒に、この国を憲法第 9 条を葬り「戦争する国」へとつくり変えるための「大連合」をもくろんでいます。断じて許せません。

こうした中、都知事選挙が 11 月 29 日告示。12 月 16 日投票で実施されることになりました。13 年半にわたり都民生活破壊の暴政を押し進めてきた石原都政から都民の命と暮らしを守る「人にやさしい都政」に変える絶好のチャンスとなりました。

いま、国民の中では、「原発ゼロ」「消費税増税許さず」「TPP 参加阻止」「オスプレイ配備反対」など国政の中心の問題をめぐって、それぞれのたたかいがかつてない広がりです。政治を動かす力をつくり出しています。こうした動きと繋ぎ合って、大きく広い共同の取組で、都民の命と暮らしをまもり、憲法を生かす「人にやさしい都政」を築こうではありませんか。(代田 5 丁目・高岡岑郷)

日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++